2015年度現代ビジネス学科教育課程表(2010年度から2013年度入学者に適用) 「企業と会計を学ぶコース]

	1セメス			F次 2セメス			3セメス			<b>三次</b> 4セメス			5・7セメ			6・8セメ			
	授業科目 経済入門	単位2	担当者専任教員	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	i j
	基礎簿記	2	*1	基礎会計	2	*1													
学	経営学 I	2 -	小林三島	経営学Ⅱ	2	小林三島													
, 科 基	胜曲于1	2	一 m 加藤(寛)	产 A 子 H	_	西村													
本			飯塚			飯塚													
科目	日本経済論 I	2 4	比佐(章) 齋籐(太)	日本経済論Ⅱ	2 •	比佐(章) 齋籐(太)													
			新家浦上			新家													
	流通論 I	2 •	高畑魏	流通論Ⅱ	2 -	高畑魏													
							管理会計論	2		コストマネジメント論	2	奥山(茂) 小山(和)	国際会計論	2	[休講]	会計社会学	2	[休講]	J
							経営管理論	2	小山(和) 山本(通)	経営組織論	2 •	加藤(こ) 山本(通)	会計制度論	2	四方田	税務会計論	2	*5 木 村	.
1							経営史 I 経営分析論	2 .	山藤田中(弘)	経営史Ⅱ 現代会計学	2 .	山藤田中(弘)	環境会計論	2	[休講]	会計思想史	2 •	未定水林	١.
ク指	1								五嶋森田			五嶋森田	経営財務論 I	2 •	坂本(恒)	経営財務論Ⅱ	2 -	坂本(恒)	Ē)
定	<u> </u>						財政学I	2	池上	財政学Ⅱ	2 •	池上	証券市場論 I	2	数阪	証券市場論Ⅱ	2	数阪	:
科目							財務会計論	2	続橋	連結会計論	2	続橋間村	銀行論	2	数阪				
							商法概説I	2	板垣中山	商法概説Ⅱ	2	板垣中山				経営情報論	2	西村	
							中小企業論 I	2	伊 東 比佐(優)	中小企業論Ⅱ	2 .	伊東 比佐(優)							
				ミクロ経済学	4 -		- 4		大澤玉井				外国為替論 I グローバル	2	清田	外国為替論 Ⅱ グローバル	2	清田	
			松村			松村	マクロ経済学	4	外木野口				マーケティング [	2	丸谷	マーケティングⅡ	2	丸谷	
л 1	経済史 I	2 •	稲庭	経済史Ⅱ	2 .	稲庭和	アジア経済論 I	2	山本(博)	金融論 アジア経済論Ⅱ	4 2	酒 井 山本(博)	経営戦略論	2 •	加藤(こ)	国際商務論	2	中野	
	経済情報処理 I	2	· 生和 *2	叙次棲却 m m m	2	*2	アメリカ経済論 I	2 •	戸田(壯)	アメリカ経済論Ⅱ	2 •	戸田(壯)	広告論 I 交通論 I	2.	高畑	広告論Ⅱ 交通論Ⅱ	2 •	高畑	1
	性切旧報处理 1	4		経済情報処理Ⅱ	-		社会経済学 I	2 .	萩原香	社会経済学Ⅱ	2 -	萩原	国際運輸論 I	2	浅井	国際運輸論Ⅱ	2	浅井	:
	経済地理I	2 •	後藤三富	経済地理Ⅱ	2	後藤三富	中国経済論I	2	、玉 手 柳 澤	中国経済論Ⅱ	2	玉 手柳 澤	国際金融論 I 国際ビジネス	2	緑川呉	国際金融論Ⅱ 国際ビジネス	2 2	緑川呉	
·	コンピュータ概論	2	児玉				非営利組織論	2	大 黒	協同組合論	2	大黒	コミュニケーション I 消費文化論	2	熊沢	コミュニケーションⅡ 消費者行動論	2	岩下	
ス							物流論 I	2 -	齊藤(実)	物流論Ⅱ	2	齊藤(実)	人的資源管理論 I	2 •	三島田中(政)	人的資源管理論Ⅱ	2.	三島田中(政)	()
科									金 稲 津			金稲津	地方財政論 I	2 ·	兼子品	地方財政論Ⅱ	2 -	兼子品	
目							貿易コミュニケーション I	2	男 中 野	貿易コミュニケーションⅡ	2 •	男 中 野	国際ビジネス論 I	2	山本(崇) 荒 畑	国際ビジネス論Ⅱ	2 •	山本(崇) 荒 畑	ŧ)
							On El abortos		小川(智) 稲 津	On El about or		小川(智) 稲 津	貿易政策	2	李秋山	国際経済関係論	2	李秋山	
							貿易商務論 I	2 -	一件野瀬	貿易商務論Ⅱ	2 -	中野鳴瀬	貿易売買論	2 .	荒畑	海上保険論	2	荒畑	
							貿易論 I マーケテハノグ I	2 .	. 松 尾	貿易論Ⅱ	2	松尾	ヨーロッパ経済論 I	2	蓮見	ヨーロッパ経済論Ⅱ	2	蓮見	
							マーケティング I 流通史 I	2	上沼田島	マーケティング II 流通史 II	2	上沼田島				保険論	2	数阪	
	経済外国語A	2	[休講]	経済外国語B	2-	山本(通) 吉 岡				経済政策	4	戸田(壯)清水			油油			∫渡 部	٦
	たけノド色和ハ	2	CENTER!	ACCUMATE MINED	-	森田	開発経済学I	2	柳澤	開発経済学Ⅱ	2	柳澤	環境経済論 I 経済専修英語(会話)Ⅲ	2 -	渡部 氏川	環境経済論Ⅱ 経済専修英語(会話)Ⅳ	2	氏 川	1
	経済外国語C	2	[休講]	経済外国語D	2	[休講]	経済学史 I	2	出雲	経済学史Ⅱ	2	出雲	経済専修英語(講読)Ⅲ	2	C.ヴァルコー 阿久津	経済専修英語(講読)IV	2	C.ヴァルコー 阿久津	Ł
	初等経済数学 I	2	坂原	初等経済数学Ⅱ	2	坂原	経済専修英語(会話) I	2 •	C.ヴァルコー J.ホリオ	経済専修英語(会話)Ⅱ	2 •	C.ヴァルコー J.ホリオ	経済専修英語(作文)Ⅲ 経済哲学 I	2	J.ボリオ 出雲	経済専修英語(作文)Ⅳ 経済哲学Ⅱ	2	J.おりオ 出 雲	Ė
			虞			虞	経済専修英語(講読) I	2 •	阿久津 呉	経済専修英語(講読)Ⅱ	2 .	呉	計量経済学 I 現代資本主義論 I	2	森泉川村	計量経済学Ⅱ 現代資本主義論Ⅱ	2 2	森 泉 川 村	
	■民法概説 I	2	島田(博)	■民法概説Ⅱ	2	島田(博)	経済専修英語(作文) I	2 -	阿久津 小川(智)	経済専修英語(作文)Ⅱ	2 -	阿久津 小川(智)	現代の経済問題 I	2	[休講]	現代の経済問題Ⅱ	2	*6	
選				□民法概説	2	石川(信)	経済統計I	2	北村	経済統計 II	2	北村奥山(聡)	現代の経済問題Ⅲ	2 -	兼子·小島 森 田	現代の経済問題IV	2 -	兼子·小島 森 田	
択 科							国際経済学 I 社会政策 I	2 •	松尾	国際経済学Ⅱ 社会政策Ⅱ	2 •	松尾(孝)							
目							社会保障論 I	2		社会保障論Ⅱ	2	田中(規)	現代の経済問題V 公共経済学 I	2	田島渡部	現代の経済問題VI 公共経済学Ⅱ	2	[休講] 渡 部	
							西洋経済史 I	2	佐藤(睦)	西洋経済史Ⅱ	2	佐藤(睦) 鳴瀬	公共経済子 I 産業組織論 I 社会思想史 I	2 2	三浦	産業組織論Ⅱ	2 2	三 浦 場	i
							世界経済論 I	2 -	鳴瀬村藤	世界経済論Ⅱ	2 •	藤村	中東政治経済論I	2	ケイワン	中東政治経済論Ⅱ	2	ケイワン	/
							中級ミクロ経済学	2	内藤岡田	中級マクロ経済学	2	玉井	都市経済論 I 農業経済論	2	菊 島	都市経済論Ⅱ 食糧経済論	2 2	山崎(将)	,
							日本経済史 I	2 •	谷沢神谷	日本経済史Ⅱ	2 -		ラテンアメリカ経済論 I ロシア経済論 I	2		ラテンアメリカ経済論Ⅱ ロシア経済論Ⅱ	2 2	睦 月 伏 田	
							東アジア経済事情 I 労働経済論 I	2 2	*3 小川(浩)	東アジア経済事情Ⅱ 労働経済論Ⅱ	2 2	小川(浩)	情報経済論	2	土屋				
										経済ゼミナールI	2		経済ゼミナールⅡ 経済ゼミナールⅢ	(4年)	欠のみ履信	≶可)	4	專任講師他 專任講師他	也
<sub>プ</sub> イ	英語演習1-I	4	外国人講師	英語演習1-Ⅱ	4	外国人講師	英語演習2- I	4	外国人講師	英語演習2-Ⅱ	4	外国人講師	英語演習3-I	4	外国人講師	英語演習3-Ⅱ	4	外国人講師	ħ
(英語)																			
シタシ																			
<u> </u>	憲法概説I	2	臼井	憲法概説Ⅱ	2	白井	行政法I	2 •	諸坂	行政法Ⅱ	2 •	諸坂	国際政治学 I	2	佐 橋	国際政治学Ⅱ	2	佐 橋	1
関連科目				□刑法概説	2	藤田		2.	川合	□以伝Ⅱ	2.	川合	西洋政治史 I	2		西洋政治史Ⅱ	2	小山(吉)	
			前田(禎)				国際法 I	2	山崎(公)	国際法Ⅱ	2		日本政治史I	2		日本政治史Ⅱ	2	橘川	
	□日本史概論 I	2 •	坂 井	□□平史院論Ⅱ	2 .	、 吸 开	•	2	为n 或款/a.e.\	職業投資Ⅱ	0	加藤(晴)	•				-	'ing 71	
	□外国史概論 I	2 •	山本(信) 中林(広)		2 .	中林(広)				職業指導Ⅱ	2	ļ	I	2	坂本(宏)				
	□地理学(含地誌)	2 •	小 泉 平井(誠)	□地誌学概論	2 •	平井(誠)	_	2	大川(千)	政治学原論Ⅱ	2 .	大川(千) 酒井(弘)							
	□地誌学概論	2	前川(明)	□地理学(含地誌)	2	前川(明)	•						 						
	□人文地理学概論 I	2 •	小 泉 新井(智)	□人文地理学概論Ⅱ	2 -	小 泉 新井(智)							I I						
	□自然地理学概論 I	2	Ī	□自然地理学概論Ⅱ	2	平井(史)	_						-    -						
	□社会学概論 I	2	植木高山(守)	□社会学概論Ⅱ	2	植木高山(守)													
	□哲学概論 I	2 -	* teather CAY	□哲学概論Ⅱ	2 -	伊藤(美)		1	1	ĺ	ĺ	1		1	1	ĺ	1	1	- 1

<sup>\*1</sup> 奥山(茂), 田中(弘), 木村, 宮下
\*2 奥田, 児玉, 內村, 工藤, 橋本, 神谷, 山崎(大), 宮武, 齋藤(巡), 未定
\*3 平川, 姜, 菅原
\*4 平川, 谷川, 藤村

【備考】教育課程表中,■印は2012年度以前の入学者が履修することが出来る科目,□印は2013年度の入学者が履修する ことが出来る科目を示す。

# [履修要件]

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 2 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ22単位を上限とする。
  - ①長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
  - ②卒業年次生に限り、特別に学部長の許可を得た者はこの限りでない。
  - ③資格教育課程に関する科目,教職課程の 「教職に関する科目」及び 「キャリア形成科目」の単位数はこの上限 単位に含めない
  - ④通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前学期・後学期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナールⅠ」は2年次,「経済ゼミナールⅡ」は3年次,「経済ゼミナールⅢ」は4年次で履修するものとする。
- 「インテンシブ・プログラム〔英語〕」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。
- 「経済情報処理」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。

## 〔コース登録〕

- 2年次の第3セメスター履修登録時に「貿易と国際ビジネスを学ぶコース」「経営とマーケティングを学ぶコース」 「企業と会計を学ぶコース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次の第5セメスターの履修登録時に「コース変更届」により申請し、許可を得な ければならない。

## 〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入すること ができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし、 2012年度以前の入学者については、各セメスターの履修制限単位数には含めない。

- 1 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続 きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

### [卒業要件]

1 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業		Ē	共	通	科	目		1 21	共	122					+	Д.	^
科目		外国		教	養	系	科	目	,	専	攻		科	目	専	自	合
	F	科	目	47	- JK	\n\	751	Н	通			1			攻	由	
		へ 第	第	キャ	人	社	自	健		学	コ	コ	選	関		選	
	Y	英一		サリ	文	会	然	康科	科	科	ース	]	択	関 連 科	科		
	1	外	外	ア 形	の	の	0)	学		基		ス	1)(	117	目	択	
	S	語国	国	成	分	分	分	0)	目	本	指定科	科	科	8	Ħ	科	
入学年度	5			成科				分配	<b>⇒</b> 1.	科	科		В	可	計	目	計
八子牛皮		∨語	語	目	野	野	野	野	計	目	目	目	目	$\overline{}$		,	
2010から	2	6	4	_	4	4	4		34	12	36		72		84	10	
2013年度入学	_	1	0			22	2		<u> </u>						Ü 1	10	128
1 2 1 20 1 1																	

- 共通科目のファースト・イヤー・セミナー (FYS) 2単位を修得すること
- 教養系科目から22単位以上(人文,社会,自然の各分野の4単位を含む)を修得すること。 ただし、「キャリア形成科目」の単位は「卒業要件単位数」に算入しない。

また、教養系科目のうち「健康科学」の「スポーツ文化  $\mathbf{I} \cdot \mathbf{I} \mathbf{I} \cdot \mathbf{I} \mathbf{V}$ 」については、2単位まで「卒業要件単位数」に 算入できる。

- 第1外国語として, 英語6単位を修得すること。
  - 外国人留学生は申請により、英語に換えて日本語を第1外国語とすることができる。
- 第2外国語として、第1外国語以外の外国語(同一語に限る)又はインテンシブ・プログラム〔英語〕の科目より4単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母国語を除く。 専攻科目から84単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。 (1) 学科基本科目から12単位以上修得すること。
- - (2) 各自が選択したコース指定科目を36単位以上修得すること
  - (3) コース指定科目(各自が選択した36単位を含む),コース科目及び選択科目から72単位以上を修得すること。 ただし、関連科目は8単位まで選択科目に換算できる。
  - (4) 学科基本科目の「卒業要件単位数」を超える単位はコース指定科目に換算できる。
- - 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。 自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする
    - (1) 全学共通科目 (キャリア形成科目を除く) 及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位
    - (2) 教職課程の「教職に関する科目」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限して自由選択科 目に算入できる。
  - (3) 他学部, 他学科開講の専攻科目の単位。ただし, 他学部他学科が受講を認めない科目については, 履修するこ とはできない。

### ・教育課程における標準年次の区切線について —

- ① 標準年次が実線 (―――) で区切られている場合,原則として上位年次の授業科目は履修できません。
- ② 標準年次が破線(…………)で区切られている場合,原則として上位年次の授業科目は履修できますが, [履修要件] 等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。